



JR四国労働新聞

J R S U

2019年
1月24日
No.7(476)

四国旅客鉄道労働組合
〒760-0021 高松市西の丸町11-9
TEL(NTT)087-851-1378
(JR)086-2597~2598
http://jr-su.jrsis.com/
発行責任者/中濱 齊
編集責任者/森安 祐貴

第32回定期本部委員会 職場討議資料

定期大会以降の経過について

安全・安定輸送に向けた取り組みについて

JR四国労働組合は、安全の確保が鉄道事業者が絶対的に守るべき使命であるとともに、すべての従業員が安全確保に最大限の力を尽くすこと、これが私たちの最大の責任である。この認識を踏まえ、昨年12月18日、予讃線宇多津駅構内第3新開高架橋及び第4新開高架橋において、コンクリート片、並びに落下する多数の高架橋下に生じたという事象が発生しました。幸いにも大きな被害は発生しませんでした。

この事象は、高架橋の大規模な落下によるもので、送電設備や軌道設備に被害が生じた。また、乗客の安全確保が最優先であり、緊急時の対応が重要である。この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。

メインスローガン

職場と地域で奮闘し、新たな時代へ共に歩もう！！

サブスローガン (案)

- 1 安全・安定・安心輸送の確立に向け、最大限取り組もう！
- 2 2019春季生活闘争に勝利し、賃金の引き上げ、生活改善を実現しよう！
- 3 JR連合との連携を強化し、政策課題の解決を図ろう！
- 4 来たるべき統一地方選挙・参議院議員選挙 勝利に向け、組織の総力を結集しよう！

また、この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。具体的には、高架橋の点検体制の強化、落下物の防止対策の実施などを行っている。また、乗客の安全確保を最優先とし、緊急時の対応体制を整えている。

労働条件の維持・改善について
1 総合労働協約の改訂等について
本部は、第1回業務対策委員会において、基本的な考え方の確認と、各年度の未解決事項を中心として、各部署より提出された要求事項を精査し、昨年8月15日、「総合労働協約改訂について」を申し入れた。これにより、平成30年度準組合員（エキスパート社員）の賃金引き上げについて申し入れた。

また、この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。具体的には、高架橋の点検体制の強化、落下物の防止対策の実施などを行っている。また、乗客の安全確保を最優先とし、緊急時の対応体制を整えている。

また、この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。具体的には、高架橋の点検体制の強化、落下物の防止対策の実施などを行っている。また、乗客の安全確保を最優先とし、緊急時の対応体制を整えている。

また、この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。具体的には、高架橋の点検体制の強化、落下物の防止対策の実施などを行っている。また、乗客の安全確保を最優先とし、緊急時の対応体制を整えている。

また、この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。具体的には、高架橋の点検体制の強化、落下物の防止対策の実施などを行っている。また、乗客の安全確保を最優先とし、緊急時の対応体制を整えている。

また、この事象を踏まえ、安全確保に向けた取り組みを進めている。具体的には、高架橋の点検体制の強化、落下物の防止対策の実施などを行っている。また、乗客の安全確保を最優先とし、緊急時の対応体制を整えている。

等により構成された「四国における鉄道ネットワーク」のあり方に関する懇談会IIが発足し、将来の公共交通を維持・発展させるための具体的方策について議論を開始しました。この懇談会には労働団体から四国交通労働協会の代表者が参加し、情報共有を図りました。

また、昨年12月12日には京都市において、JR連合「第13回政策シンポジウム」が開催され、JR四国労働組合員を含む約400名の参加者とともに「将来に亘り経済・社会へ貢献し、信頼されるJR産業界の構築」を掲げて議論を深めました。

今年度末で期限切れを迎える「JR二島会社の法人事業税資本制の課税標準に係る特例措置」及び「低炭素化等に資する旅客用新規鉄道車両に係る固定資産税の特例措置」については、JR連合の精力的な取り組みもあって、それぞれ、平成16年度以降5年ごと、平成17年度以降2年ごとに繰り返し延長されてきました。

JR連合は、これら税制支援策の延長・恒久化に向け、「JR連合21世紀の鉄道」や「21世紀の鉄道」を考える議員フォーラム」において関係する国会議員に対して要請を精力的に行うとともに、11月29日には国土交通副大臣への要請行動を行いました。

一方、JR四国労働組合は11月19日に「四国の鉄道」を考える国会議員連絡会」を開催し、四国選出の国会議員に対して政策課題の解決に向けた要請や意見交換を行いました。

着実に実施されるよう動向に注目していきます。**(3) 鉄道の抜本的高速化に向けた取り組みについて**
JR四国労働組合は、四国の経済の地盤沈下を防ぐとともに、四国の鉄道ネットワークを維持するため、高速度化が必要であるとの認識を踏まえ、新幹線導入に向けた機運の醸成を図るため、四国の鉄道を考える国会議員連絡会「等」のさまざまな機会において、四国への新幹線導入の必要性を訴えてきました。

JR連合は、平成28年の軽井沢スキーバス事故後に検討された事故再発防止対策の推進をはじめ、JR連合自動車連合会や交通労働協会の連携を強化し、バス事業の安全性向上に向け取り組んでまいりました。

一方、JR四国労働組合においても、労使間での協議を通じて、健康に起因する事故の対策をはじめ、安全対策の徹底に全力で取り組んでまいりました。

2018年春季生活改善闘争及び賃金到達目標への達成等の検証をはじめ、賃金政策議論に反映すべく、昨年9月に全組合員を対象とした「JR連合第25回賃金実態調査」に各級機関の協力のもと取り組まれました。(回収率数1,728名、回収率87%)

また、連合関係では、2018年度労働条件関係等調査」等、各種調査にも協力しました。**1 教育・広報活動の取り組みについて**
教育担当者会議について
昨年8月17日に教育担当者会議を開催し、平成30年度の大会方針に基づいた具体的な教育活動実

実施計画等を決定しました。**(2) ユニオンスクール「フレッシュユース」**
9月21日から22日にかけて、香川県三豊市「ル・ポール栗島」において、入社5年以内の組合員を対象とした「フレッシュユース」を33名参加のもと開催しました。

四国各地から集まった受講生は、本部役員等の講義に熱心に耳を傾け、「労働組合の基本」「JR四国労働組合の歴史」「JR連合の取り組み」など、JR連合の取り組みについて学びました。

また、青年女性会議役員として組合活動に取り組みたい組合員は、「男女平等参画推進の取り組み」や「政策課題解決の取り組み」などについて学びました。

また、青年女性会議役員として組合活動に取り組みたい組合員は、「男女平等参画推進の取り組み」や「政策課題解決の取り組み」などについて学びました。

また、青年女性会議役員として組合活動に取り組みたい組合員は、「男女平等参画推進の取り組み」や「政策課題解決の取り組み」などについて学びました。

「ス」及び「自動車支部ニュース」(「+α」)「プラスアルファ」の情報を公開するなど、迅速な更新に努めました。**(6) JR連合新聞に記事を投稿するとともに、JR連合機関紙「てるみ」の取材に協力しました。**

また、「旬刊ACCES」(「月刊「連合」」)等の配布を行い情報の共有化を図りました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR四国労働組合「四国の鉄道」を考える国会議員連絡会」の活動について

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

執行委員会見解を発し、組織を挙げた増収活動への取り組みを要請してききました。**(5) 「大坂北部地震・平成30年7月豪雨」災害被災者救援カンパの取り組みについて**
大阪北部地震及び平成30年7月豪雨災害において被災した組合員を支援するため、JR四国労働組合員及びグループ労働組合員・退職者連絡会等を含めた救援カンパに取組みました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

国内外労働者との連携活動について

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

2019年春季生活闘争と労働条件改善の取り組みについて

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

2019年春季生活闘争と労働条件改善の取り組みについて

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑み、ボランティア活動や重要活動の取り組みを位置付けて取り組んでいまして、昨年8月25日には山梨県鳴沢村で「富士山の森づくりプロジェクト」に参加するとともに、9月15日から16日の両日、山梨県早川町において地域活性化活動が実施され、JR四国労働組合からあわせて3名が参加しました。

る目標賃金

これまで実施してきたグループ労働賃金実態調査や公的機関による賃金調査の結果等を踏まえ、「中期労働政策ビジョン(2014)2018」において、分科会(業種)ごとに到達すべき目標賃金を設定しています。この間の取り組みによって、一部の分科会の若年層では「Q1(必達目標値)」に到達していますが、未だ多くの分科会・年齢ポイントで「Q1」に到達していないことから、「Q1」に必ず到達するとともに、参考値である「Q2」「Q3」を目標とするとしています。

③ 具体的な要求内容
① 賃金カテゴリー維持分の確保を前提とした定期昇給制度の確立並びに適正運用
働く者の生活設計や人材の確保と定着、業務遂行力の向上を通じた会社の持続的発展を図る観点から、定期昇給制度が確立されていない単組については、制度の確立(労働協約化)と適正運用を強く求めるとともに、制度が確立している単組については、定期昇給の実施による賃金カテゴリーの維持分の確保を求めます。

② 賃金引き上げ要求
JR連合に結集する加盟単組が一丸となった春季生活闘争を構築するため、以下の通りの賃金引き上げ要求を行います。
ア 定期昇給制度のある単組
定期昇給を前提に月例賃金総額「6,000円以上」の引き上げを目標とします。
そのうち3,000円を目安に純べア統一要求として求めます。
純べア統一要求以外の賃金引き上げ要求については、総合生活改善や格差(雇用形態間、男女間等)是正の観点に立って

各単組において判断することとしますが、各単組はワーク・ライフ・バランス実現に資する要求項目を盛り込むこととします。例として、長時間労働抑制のための超過勤務手当単価の引き上げや少子化対策としての扶養手当増額等。

イ 定期昇給制度のない単組
定期昇給が確立されていない単組は、月例賃金総額「10,500円以上」の引き上げを目標とします。そのうち4,500円を定期昇給相当分、3,000円を目安に純べア統一要求として求めます。
純べア統一要求以外の賃金要求項目については、上記の定期昇給制度のある単組と同様に取組むこととします。

④ 総合生活改善に向けた労働条件向上の取り組み
賃金引き上げ要求以外の労働条件向上に関する改善については、「総合生活改善」の取り組みとして、JR各単組と同様のテーマを掲げて取組みます。
特に、働き方改革関連法の施行を先取りした取り組みや、時間外労働の上限規制等の適用標準となっている業種について、一般則に近づけるための取り組みを展開します。
なお、具体的な要求については、各単組が置かれている状況を踏まえて、それぞれ策定し、実現を図っていくこととします。

⑤ 非正規労働者の処遇改善に向けた取り組み
非正規労働者の労働条件の「底上げ」・「底支え」の「格差是正」と正規労働者との均等待遇の実現を図る観点から、JR各単組と同様のテーマを掲げて取組みます。
特に、同一労働同一賃金の法整備を踏まえた正規労働者との不合理な待遇差の是正や、無期転換ルールの適正運用、地域別最低賃金の引き上げなどに向けて取り組みを強化します。
とりわけ、協働会社等を含めた「底上げ」・「底支え」の取り組み

⑥ 協働会社等を含めた「底上げ」・「底支え」の取り組み
グループ会社のみならず、協働会社等を含めた労働条件の「底上げ」・「底支え」の観点から、JRグループ全体で生み出した付加価値が適正に配分される取引関係の実現に向けた取り組みを継続します。とりわけ、安全の確立と安定した事業運営による収益の確保が、JRグループのさらなる信頼性向上に繋がるとの立場から、より一層の安全の確保、技術力の向上はもとより、労働条件の向上や人材育成の充実を図る、受委託契約における単価の見直し等、協働会社等における「一人への投資」を引き続き求めていきます。

⑦ 要求・交渉・回答引き出しの日程設定
① 要求提出
可能な限り、2月28日(木)に一律に要求書の提出を行うこととします。
② ヤマ場と回答指定
連合が設定した集中回答ゾーン(3月23日〜31日)を念頭に、交渉・妥結の集中を図ります。
なお、妥結については、原則年度内、可能な限り4月中決着を目指して取組みます。

⑧ 2019春季生活闘争方針について
基本的な考え方について
JR四国労組の2019春季生活闘争は、連合、9春季生活闘争を基本に、定期昇給の確保と賃金の引き上げ、時短、制度政策要求等、総合生活改善闘争として取組むこととします。

⑨ 要求の根拠
① JR労働者として、働きがいを持つ目標賃金水準へ到達するため、厳しい経営環境の中、これを支える組合員の努力に添えるため、② 働く組合員が意欲を持って日々の業務を遂行できる環境の創出のため

⑩ 就業規則等の制度改善
① 36条協定における時間外労働時間の抑制
② 就業規則等の制度改善

④ グループ労組の賃金改善に向けて相乗効果を図るため

⑤ 協働社員の賃金、労働条件の改善を図るため
③ 具体的な要求内容について
JR四国労組は、JR連合「中期労働政策ビジョン(2014)2018」が掲げる目標賃金(上位目標賃金・必達目標賃金)を受け、我々の目指す「必達目標賃金」(指す業1千名以上の中位数)の達成に向け賃上げの闘いを展開してきましたが、未だ到達していません。

⑥ 育児及び介護に関する諸制度の拡充について
⑦ 技能手当・職務手当等の改善について
⑧ 準組合員(エキスパート社員)の多様な勤務制度の新設・拡大について
⑨ 準組合員(契約社員)の制度改善について
⑩ 要求と回答引き出しの日程設定
① 要求提出
2月13日(水)までに要求書を提出することとします。
② ヤマ場と回答指定
連合が設定した第1先行組合回答ゾーン(3月11日〜3月15日)、中堅・中小集中回答ゾーン(3月25日〜3月31日)での回答引き出しに向け取組みます。

⑪ 職場環境改善について
職場諸問題の解決及び改善に向けた取り組みは、極めて重要であると認識しており、「明るく働きがいのある職場づくり」の観点から諸問題の解決及び改善に向けて取り組みの強化を図ります。
具体的には、支部・分会を通じて職場諸問題を集約し、職場環境、福利厚生等の問題点について精査し、経営協議会に付議するなど解決及び改善に向けて取組みます。

⑫ 平成21年度夏季手当等の取り組みについて
JR四国を取り巻く経営環境は、対抗輸送機関との競争、人口減少や少子高齢化のさらなる進展など、依然として厳しい環境が予想されますが、期末手当が住宅ローンや教育費など、生活費に占める割合は非常に大きくなっており、日々の「安全・安定輸送」、増収活動への取り組み、組合員の強い期待感やその努力に報いるためにも、会社の経営実績及びJR他社や世間相場等の動向を見極めながら執行委員会等において議論し、春季生活闘争時において要求することとします。

⑬ 平成21年度夏季手当等の取り組みについて
JR四国を取り巻く経営環境は、対抗輸送機関との競争、人口減少や少子高齢化のさらなる進展など、依然として厳しい環境が予想されますが、期末手当が住宅ローンや教育費など、生活費に占める割合は非常に大きくなっており、日々の「安全・安定輸送」、増収活動への取り組み、組合員の強い期待感やその努力に報いるためにも、会社の経営実績及びJR他社や世間相場等の動向を見極めながら執行委員会等において議論し、春季生活闘争時において要求することとします。

⑭ 「二企業一組合」組織の充実・強化の取り組みについて
「二企業一組合」への取り組みについて
私たちJR四国労組は、結成以来、今日まで「一企業一組合」に向けた組織の充実強化に努めて取り組んでまいりました。当面の目標であった組織率90%を維持しています。率90%を維持し、最終的に「二企業一組合」であり、その目的達成のためには、私たちが主体性を発揮し、運動の展開を図らなければなりません。

⑮ 組織の充実・強化の取り組みについて
① 組織の充実・強化の取り組みについて
組合員に対する働き方支援の充実を図ります。また、新規採用者の歓迎会を4月に開催し、配属先となる各支部・分会においても新入組合員の不安解消に向けた取り組みを実施します。

⑯ 民主化闘争への取り組みについて
民主化闘争の最終目標は、革マル派浸透問題を解決することによってJR労働運動の分裂状況に終止符を打ち、真正にJRの健全な発展に資するJR労働運動の一元化を達成することにあるといえます。JR四国労組も、この目的達成のための様々な支援活動や情宣活動を展開し、JR労働界再編に向けた組織拡大運動「民主化闘争の完遂」に向けてJR連合と連携を強化してまいります。具体的には「JR連合組織戦略会議への参加」「民主化支援行動への参加」等について取組みます。

⑰ JR四国労組退職者連絡会の充実強化について
JR四国労組は、退職者連絡会の運営を円滑にするために、幹事会を支援するとともに、必要な事務手続きについて取り扱っていくこととします。

⑱ 青年女性会議の育成・強化について
青年女性会議には、JR四国労組運動を継承し、将来を切り拓く運動を創るために、諸活動を通じて次世代を担うリーダー

⑲ 運動の原点である分会組織の活性化及び充実強化に向けて、必要により学習会の開催など支援体制の強化を図ります。
⑳ 新規採用者に対する組織拡大の取り組み及び新規採用者の全員加入に取り組むとともに加入後のフォローアップ体制を充実してまいります。また、新規採用者の歓迎会を4月に開催し、配属先となる各支部・分会においても新入組合員の不安解消に向けた取り組みを実施します。

⑳ 運動の原点である分会組織の活性化及び充実強化に向けて、必要により学習会の開催など支援体制の強化を図ります。
㉑ 新規採用者に対する組織拡大の取り組み及び新規採用者の全員加入に取り組むとともに加入後のフォローアップ体制を充実してまいります。また、新規採用者の歓迎会を4月に開催し、配属先となる各支部・分会においても新入組合員の不安解消に向けた取り組みを実施します。

を育成する重要な任務があります。基本組織である本部・支部・分会の各種活動に積極的に参加するとともに、組織の強化に向けて「明るく・楽しく・元気よく」ステップアップすることを目標とします。

さらに、青年女性会議ならではの柔軟な発想力と行動力に基づき活動の活性化を図り、目指すべき労働運動の方向性を明確にし、常に問題意識を持って取り組んでいきます。

男女平等参画推進の取り組みについて

JR連合の「男女平等参画推進計画」及び「第3次男女平等参画行動計画」で掲げる課題等の解決や目標の達成に向け、JR四国労組「男女平等参画推進委員会」で議論し取り組みます。

政策・調査活動の取り組みについて

1 政策課題の解決に向けて
諸課題の解決や政策の実現に向けて、JR連合をはじめ「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

(1) 持続可能な地域公共交通の実現に向けた取り組みについて
(2) JRグループ労働者に相応しい労働条件の確保に向けた取り組みについて
(3) 鉄道の抜本的高速化に向けた取り組みについて
(4) 交通重点政策実現に向けた取り組みについて
(5) ジェイアール四国バスにおける課題解決について
(6) 交通政策基本法の有効活用に向けた取り組みについて

2 調査活動の充実強化に向けて

激変する社会環境も大きく変わる中、幅広く組合員の意見集約を行う調査活動の充実・強化が求められています。今度も実施が予定される、JR連合資金実態調査をはじめ、JR連合及び連合の実態に関する各種調査に積極的に参加し、向上に努めるとともに、JR四国労組運動に反映させていきます。

教育・広報活動の取り組みについて

1 教育活動について
JR四国労組運動をさらに継承・発展させるべく、魅力ある教育活動に取り組んでいきます。なお、今後の主な取り組みは次のとおりです。

(1) 青年女性組合員（入社6年以降）を対象とした「ユースコース」
(2) JR採用の新任役員等を対象とした「ニューリーダーコース」
(3) 管理者組合員を対象とした「特設コース」（管理者セミナー）

2 広報活動について

「JR四国労組新聞」については引き続き各種会議や行事の内容及び各級機関の活動など組合員と密着した記事に重点を置き、親しみやすい紙面づくりを行います。また、「JR四国労組ニュース」や「自動車支部ニュース」や「自動車でわかりやすい内容として発行することにも、ホームページの迅速な更新に努めます。

ボランティア活動の取り組みについて

青年女性会議を中心とした「鉄道版交通安全教室」を開催するとともに、全組合員の誰もが参加できる活動として実施している「プルタブ回収」も継続して取り組んでいきます。

また、香川県三豊市の栗島「城ノ山」において登山道の除草作業等を行

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

政治・共同の取り組みについて

1 政治関係について
JR四国労組「四国会議員懇談会」・「JR連合国会議員懇談会」・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」のメンバーと連携し、総合的な課題の解決に向けて政治活動を展開していきます。

2 広域連携について

JR四国労組新聞「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。

3 広報活動について

「JR四国会議員懇談会」及び「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」並びにJR四国労働組合連合会「等」の連携をさらに強化し、組織を挙げて取り組んでいくこととします。



2019年「新春セミナー」 「新春交歓会」開催!

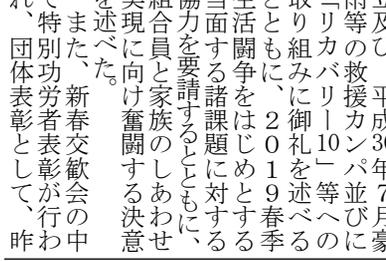
1月12日（土）香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」において、2019年「新春セミナー」及び「新春交歓会」が開催された。

「新春セミナー」では、「働く仲間」の笑顔のために」と題し、参議院議員選挙比例区候補予定者の田村まみ氏を講師に迎え、労働組合での経験から学んだ生活者の視点を持つことの重要性や、働く仲間への声の届きやすさなどを語り、参加者から大きな反響を呼んだ。

その後、「新春交歓会」に移り、連合香川、四国交通労協、国会議員をはじめとする多くの来賓と各級機関の代表者ら約110名の出席のもと盛大に開催された。

主催者を代表して中濱執行委員長は、日々の安全・安心・輸送の確立及び、平成30年7月豪雨等の救援カンパ並びに「リカバリ10」等への取り組みに御礼を述べるとともに、2019年春季生活闘争をはじめとする当面する諸課題に対する協力を要請するとともに、組合員と家族のしあわせを実現に向け奮闘する決意を述べた。

また、新春交歓会の中で特別功労者表彰が行われ、団体表彰として、昨



来賓の皆さま（順不同）

連合香川 森 信夫 会長
石川 哲也
西地域協議会事務局長 井上 浩司 議長
四国交通労協 小川 淳也 衆議院議員
玉木雄一郎 衆議院議員
参議院議員選挙推薦候補者 田村 まみ 氏



特別功労者（順不同）

団体表彰（賞状並実態調査） 愛媛支部
自動車支部
団体表彰（救援カンパ） 香川県協
愛媛県協
徳島県協
高知県協



病共済」の加入促進に努めます。

(6) 「長期家族サポート共済」の更新に向けて取り組みます。

(7) アイネクストの「アフラス」に努めます。

(8) 組合員の財産形成と生活を支援するため、財形貯蓄等の加入促進など、労働金庫運動に取り組んでいます。

1月11日（土）14時30分より、本部1階会議室で「第6回本部執行委員会」が開催された。

経過報告と議事については次のとおり。

【経過報告】

- ・組織の強化拡大（経営協議会）
- ・ダイヤ改正（JR四国）（部会）
- ・工務部会定期委員会
- ・運輸部会定期委員会（男女）
- ・第1回男女平等参画推進委員会（教育）
- ・ユニオンスクール「レベリアップコース」

【共闘】

- ・JR四国グループ労働組合連合会定期大会
- ・連合「愛のカンパ」の実績（レク）
- ・第7回ドッジボール大会（JR連合）
- ・安全対策委員会
- ・組織戦略会議
- ・政策シンポジウム
- ・労働政策委員会
- ・新中期労働政策ビジョン策定PT

【議事】

- ① 県協からの推薦申請について
- ② 予讃線「宇多津駅構内における高架橋からの落下物」について
- ③ 「坂出インターバスラザ廃止」及び高速バス火災発生並びに四国運輸局監査に伴う行政処分等について
- ④ JR四国労組「新春セミナー」開催について
- ⑤ 第32回定期本部委員会の議案書について
- ⑥ 第32回定期本部委員会の役割分担について
- ⑦ 平成31年度夏季手当要求の基本的な考え方に
- ⑧ JR連合四国地方協議会第27回定期委員会の開催について
- ⑨ レディースミーティングの開催について
- ⑩ ユニオンスクール「ニューリーダーコース」の開催について
- ⑪ JR四国労組「第1回ハイキングレク」の開

